

6月5日（土） 土曜活用活動報告

6月5日（土）の土曜活用として特別講座を開講いたしました。5月から2月にかけて残り6回、大学や企業から講師の方を招き、学びの場を広げていきたいと考えています。

6月5日（土）は新潟工業短期大学 近藤克哉様、開志専門職大学 渡辺康英様、新潟医療福祉大学義肢装具自立支援学科 東江由起夫様、新潟青陵大学社会福祉学科 森扶由彦様、中野啓明様、齊藤勇紀様、新潟青陵大学臨床心理学科 齋藤恵美様、新潟青陵大学短期大学部人間総合学科 孫犁冰様、西森亮太様、新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科 福岡龍太様、中央区社会福祉協議会 鹿柴綾子様、志田英男様の12名の方々にお越しいただき、参加生徒は131名（1年生64名、2年生16名、3年生35名、4年生11名、5年生6名、6年生1名）でした。

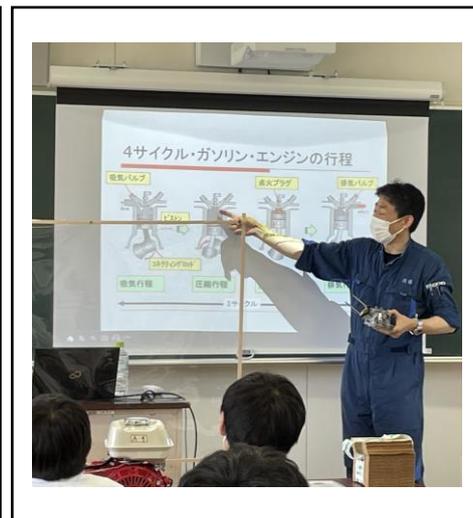
【講座名】 1 「エンジンのしくみ」

【講師】 新潟工業短期大学 近藤克哉 様

【会場】 多目的室

【活動概要】 実際にミニエンジン（単気筒 120cc4 サイクル）を分解し、一つ一つの部品説明を聞き、エンジンの構造を学びました。また、分解した部品を組立て実際にエンジンを動かしてみました。しっかりエンジンが動き出し歓声が上がり、体験型の学習をしました。

【活動の様子】



【参加者】 25名

【生徒の感想】・

- ・車が大好きで、エンジンが色々な部品から作られていてとても興味深かった。
- ・エンジンは同じエンジンでもたくさんお種類があって、それぞれの特徴を知ることができた。またどうやってエンジンが動くのか知ることができた。
- ・モーターなどは分解したことがあったが、ガソリンで動くエンジンは分解したことがなかったので貴重な体験ができて面白かった。

【講座名】 2「ソーシャルデザイン入門～ビジネスを通じた社会課題の解決に向けた取り組み～」

【講師】 開志専門職大学 渡辺康英 様

【会場】 3年3組教室

【活動概要】 ビジネスを通じて社会課題の解決に挑戦しているさまざまな事例を取り上げ、ソーシャルデザインの素晴らしさや物を評価するという視点を聞くことができました。ソーシャルデザインとは、社会課題の解決に向けて、新しい商品やサービスなどを創ることで、アップサイクルという考え方を学ぶことができました。私たちの身の回りにある様々な社会課題に対して、企業などが新しいビジネスを考案し、その解決に取り組んでいることを紹介していただきました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 13名

【生徒の感想】・

- ・ ソーシャルデザインすることで企業のイメージが良くなるので一石二鳥以上になると思いました。これからの変化する社会に対応していけるビジネスになりそうです。
- ・ 講座を聴いてみてすごい興味がでました。空き家を宿泊施設にする活動など自分もやってみたい。
- ・ ソーシャルデザインで解決できない問題もあるが自分たちで解決する力をつけていきたい。

【講座名】 3 「医療専門職 義肢装具士のしごと」

【講師】 新潟医療福祉大学義肢装具自立支援学科 東江由起夫 様

【会場】 3年2組教室

【活動概要】 義手や義足とは、装具とは何かを具体的に写真や映像を示していただき説明を受けました。また義肢装具の歴史にも触れ、歌舞伎役者（三世沢村田之助）が義足を付けて舞台に復帰したことなどお聞きすることができました。整形外科等の治療ならびにリハビリテーションに携わる義肢装具士の仕事についても説明を受けました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 6名

【生徒の感想】

- ・機能を補うための装具と欠損を補うための義手・義足の明確なはたらきの違いを知ることができた。
- ・義足や義手は知っていたものの「義肢装具士」は講座で初めて知りました。
- ・患者様の身体にフィットするよう長いときでは1か月もかけて制作することに驚き、義肢装具士のやりがなども学ぶことができた。
- ・義肢装具は他人事のように思っていたけどけがをした時には欠かせない物だと分かりました。義肢を作ることで自分だけでなく家族も救うことができるカッコいい仕事だと感じた。

【講座名】 4 「どうすれば幸せを掴めるか幸せを感じるコツ！」

【講師】 新潟青陵大学社会福祉学科 森扶由彦 様

【会場】 視聴覚室

【活動概要】 収入増は感情的に幸福を感じる要素にはならないなど幸せになるためには3つの要素があることなどをお聞きすることができました。今のあなたは幸せですか、どうすれば幸せを感じて掴むことができるのか、様々な問いかけに答えながら実際の幸せとは何かを学びました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 23名

【生徒の感想】

- 幸せを感じるためには人生について考えることや人との関わりを大切にすることを学びました。
- 幸せというのは周りに満ちあふれていることを学びました。
- 幸せを感じるためには多くの人と話をすることが大切であることが分かった。多くの人と積極的に話をしていきたい。
- おもしろくて楽しくて、幸せになるトレーニングや幸せを感じるコツなどを続けて行い、幸せになりたい。

【講座名】 5 「大学・短大とは何か」

【講師】 新潟青陵大学社会福祉学科 中野啓明 様

【会場】 4年3組教室

【活動概要】 大学へ進学するにあたり大学がどのような授業をしているか、短大と大学の違いなどを具体的にお聞きしました。大学を卒業するためには単位をとることが必須ということが分かりました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 6名

【生徒の感想】・

- ・ 大学では予習・復習が大切だとわかりました。
- ・ 授業動画は、大学の様子がよくわかりました。
- ・ 大学の目的を知ることができました。
- ・ 必修単位は学科・学校によって違うので、自分で調べ考えてからどこに行くか決めようと思いました。
- ・ 「普段の勉強が受験勉強だと思ってやってみる」を大切にこれから学習を進めていこうと思いました。
- ・ これからは「協同性」も大切にしていかなければならないとわかりました。

【講座名】 6 「障害のある子どもの育ちを支える対人援助職」

【会場】 4年2組教室

【講師】 新潟青陵大学社会福祉学科 齊藤勇紀 様

【活動概要】 障害がある子と「どう接すればいいのか、どう支えればいいのか」などをお聞きしました。接し方には工夫が必要だということがわかりました。また、様々な発達障害について教えていただき、周りの人のサポートがあることで障がい者ではなくなることもわかりました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 6名

【生徒の感想】

- ・思っていたより障害の数が多かったです。
- ・この経験を生かして、今後出会った障がいなどがある人に、優しく接して行きたいです。
- ・自分の価値観と他人の価値観の違いを認めるための勉強になりました。
- ・「5人いれば、みんな違う。それでいい。」という言葉がすごく刺さりました。
- ・将来出会う誰かの支えになればと思いました。
- ・自分の将来の夢が精神保健福祉士なので、どんな仕事か知れてよかったです。
- ・子どもの支援をする時、内容が見えるようにしたり、姿勢を低めにしたり、笑顔で話したりというような工夫をすることで、話が伝わりやすくなることがわかりました。

【講座名】 7 「コミュニケーションのための”心の筋トレ”入門」

【講師】 新潟青陵大学臨床心理学科 齋藤恵美 様

【会場】 集会室

【活動概要】 よりよいコミュニケーションとは何か？を考えました。「ありのままの事実を述べること。自分の意見を伝えること。一緒に解決をするための提案をすること。」など大切なことをロールプレイ等の疑似体験を通して学びました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 26名

【生徒の感想】

- ・相手のことも自分のことも大切にすることができれば相手との関係も大切にできることが分かりました。事実→意思→提案というパターンを使い、練習することで応用できるので、たくさん練習して上手になりたいと思いました。
- ・誰かと話すのが苦手なので、学んだことを生かして、たくさん人と話をしていきたいです。
- ・ロールプレイやワーク等で楽しく学ぶことができました。早速、活用したいと思います。

【講座名】 8 「中国経済外交の動向から世界経済の潮流を読み解く」

【会場】 4年1組教室

【講師】 新潟青陵大学短期大学部人間総合学科 孫犁冰 様

【活動概要】 国の経済について教えていただきました。楽しい話を通じて中国の経済を考えられたことにより世界経済についてもっと詳しく知りたいと思うようなお話でした。また、経済のしくみと生きる上で大切にすることも教えていただきました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 5名

【生徒の感想】

- ・物事の考え方等、ためになることを教えていただき中国の経済についても詳しく知ることができました。
- ・中国の経済力の増加の方法や外交について知ることができた。
- ・「日中共同声明」が署名され日中の国交が回復したことがわかりました。田中角栄さんが自分側も相手側も納得できるようにしたことがすごいと思いました。
- ・経済のしくみが変わっていくかもしれないということがわかりました。
- ・中国の経済力の増加の方法や外交について知ることができました。GDPは、これから増えていき1位になる可能性があることがわかりました。

【講座名】 9 「企業はだれのために存在するのか：資本主義のあり方を問い直す」

【会場】 5年3組

【講師】 新潟青陵大学短期大学部人間総合学科 西森亮太 様

【活動概要】 新自由主義経済における現代企業のあり方について、SDGs も踏まえてお話をお聞きしました。企業には社会的と私的の二重性があり新自由主義経済は株主の利益を重視した私的なものだということがわかりました。企業に対して持っているイメージ「人々のため、生活基盤」といったこととは違うこともあることを多面的に教えていただきました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 5名

【生徒の感想】

- ・日本が新自由主義からステークホルダー資本主義へと海外に追いつくようになるためには、アメリカやイギリスのように若い世代が社会基盤等に触れて興味を持つことが必要だとわかり興味深かった。
- ・質の良い教育をされるためには経済格差を平等にしないといけないと思っていた。お話を聞き日本も海外の企業も今まで私的なことしか考えなかったから経済格差が広がったが、今は株主らがこのままではいけないと考え社会的や環境のための企業の株を買おうとして改善されようとしていることが分かった。
- ・労働者のことを考えなければいずれ企業は成り立たなくなってしまうと思うが、SDGS などによって少しずつ良くなってきていることは良いことだと思った。

【講座名】10「図工が苦手という人に・・・」

【講師】新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科 福岡龍太 様

【会場】5年2組教室

【活動概要】図画工作のワークを通じて大学進学や大学選択のイメージを膨らますことができました。進路に対する考え方が広がり気持ちも楽になるような温かい授業でした。

【活動の様子】



【参加者名簿】6名

【生徒の感想】

- ・「大学は名前で選んではいけない」ことや「自分の好きな食べ物で学部が分かる」ということを学んだ。
- ・好きなもの、好きなことをしっかり伝え方、伝える大切さがよくわかりました。
- ・これからの人生のアドバイスをいただいているような講座で楽しかった。好きなものをこれからも大切にしていきたい。
- ・自分の描いた絵を大学に見立てて考えるとぼんやりしたイメージが進路について考えやすくなった。
- ・鉛筆をカッターで削ったり自分の好きな場所を描くのが楽しかった。
- ・自分の好きな風景や食べ物を描くことで、大学の決め方やそのビジョンを学ぶことができました。
- ・学部名や大学名で検索し、その大学のサイトのキャッチフレーズを見てズンときたら受けるべきということが分かった。

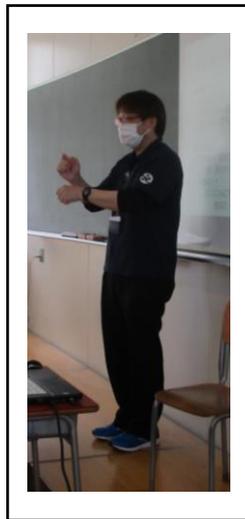
【講座名】 11 「手話と聴覚障がい者と手話通訳者～福祉のしごと～」

【講師】 中央区社会福祉協議会 鹿柴綾子 様 志田英男様

【会場】 5年1組教室

【活動概要】 聴覚障がい者のコミュニケーション手段の大切な1つとしての手話を教えていただきました。難しいと思われる手話や指文字でも何かを題材にしたり元にしたりと覚えやすいことをお聞きしました。高校生には耳慣れない「社会福祉協議会」の組織体制や活動について、わかりやすくお話していただきました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 10名

【生徒の感想】

- 社会福祉の福祉の響きは重いイメージだったが、やりがいや社会への愛やすばらしさに触れることができると感じました。
- 手話奉仕養成講座を受けているが、手話が大切に扱われてきた言語だと知りモチベーションが上がりました。
- 手話を知って覚えることも大事だが、まずは聴覚障がい者と関わってほしいということに心を動かされた。
- 社会福祉協議会は人助けをしていることが分かり、将来、人の助けになるような仕事につきたいと思った。難聴者の方の生活での工夫に興味があった。
- 手話で話すときの大事なポイントが分かった。生活の中で取り入れたい。